



〒520-0041 滋賀県大津市浜町1-38
滋賀銀行従業員組合
TEL 077-521-2775
FAX 077-525-5232
Mail info@sbu-ffs.com
URL http://sbu-ffs.com/

滋賀従組・年金者部会・さざなみネット 地方経済と労働者に展望を！ 「2020年合同旗びらき」

1月16日、夕刻より滋賀銀行従業員組合、同・年金者部会、全国金融産業労働組合滋賀分会（さざなみネット）の3組合の役員による「2020年合同旗びらき」が開催されました。澤井書記長の司会で始められ、はじめに中島康隆従組委員長は挨拶で次のように述べました。



政策誘導が困難 すすむ東京一極集中

共済総研の記事に「『止まらない東京一極集中の動き』として12月26日に総務省が公表した住基台帳人口移動報告（19・11月結果）で19年の東京圏への転入超過は14・3万人規模になった。18年の同13・6万人を

上回ったとし、背景には、地方に比べて相対的に良好な都市部の雇用・所得環境がある」と報じています。日本全体で見たときに地域をどうするかという課題であり、この仕組みを変えるというのが本来「地方創生」であるべきです。報告では「政策誘導によって流れを逆転することは容易で

銀行の施策「進んでいく方向は地域を縮小」

滋賀銀行の施策についてみると、その進んでいる方向は、地域を縮小する方向だと思ふ。実際に地域金融機関として生き残っていかけるのか、その展望を本当に持っているのかどうかである。テーマにすべき現実的な課題もあり、時間が取れない。滋賀の大岡敏孝衆院議員が開いた政治資金パーティーをめぐり、無料で料理や酒を提供し、公職選挙法に抵触する疑いが浮上した」と述べられました。



考えさせられる 「日本のすすむ道」

年金者部会世話人を代表して倉見栄一さんは次のように述べられました。和田部会長と古田会長代行がともに参加できなかったので私から挨拶をします。昨今、考えさせられるのは「日本の国は、どうなるのか」と言うことです。カルロス・ゴーンを巡る一連の騒動と逃走事件。安倍政治がアメリカに追随しているのを見てみると、怒りを持つ人が増えてくる。人口減少で、労働力の不足が懸念されています。滋賀の大岡敏孝衆院議員が開いた政治資金パーティーをめぐり、無料で料理や酒を提供し、公職選挙法に抵触する疑いが浮上した」と述べられました。

組合の展望を持つべき時、今年1年頑張ろう

従業員組合の現状は、4人の卒業組合員が執行部と一緒に頑張っているが、これもいつまでも続けられないと思う。やはり、ここ2〜3年でのような展望を持つのか、その方向を出していかなければならないと思う。体力のこともあるが、今年1年頑張っていきたい。

いまは、子どもを 含めて不幸な時代

私が5年生の時に戦争に負けたが、喜んで教科書を破っていた。私の時代は、今ほど悲惨な思いはしていなかった。いまは、子どもも含めて不幸な時代になっている。安倍一派がやっていることで一番大きな問題は、ほかの派閥が何も言えない状態を作っているところである。自民党の人も怒らないといけないと思う。

国民春闘滋賀県共闘会議・滋賀県労働組合総連合 新春旗びらき

1月11日、大津市内において国民春闘滋賀県共闘会議と滋賀県労働組合総連合の「旗びらき」が開催され約60人がつどい、滋賀銀行従業員組合から小原執行委員（滋賀県労連・幹事）が参加しました。



桜を見る会だけでなく ゴマカシ・隠蔽 何でもあり

も発言されているように、早急な対策がとめられる。選挙の年であり、安倍首相の早期退陣を目指し「がんばろう」と述べられました。

野党の共闘で野党連合政権 実現のために全力

日本共産党滋賀県委員会石黒委員長は、「河野防衛相が自衛隊に中東派兵命令を出した。憲法を守り、平和と民主主義、国民の命と暮らしを守るために、市民と野党の共闘で野党連合政権実現のために全力で頑張る」と述べられました。

旗びらきのはじめに岡本県労連議長は、「新年は、米がイラン革命防衛隊の力セム・ソレイマニ司令官の殺害で始まった。トランプ大統領の殺人攻撃に安倍首相は何も言えない。また、温暖化の問題では、ノルウ

エー西部のスンドルスエーラ村で、通常なら気温は氷点下になりスキーのメッカの町で、1月2日最高気温が19℃に到達。これまでの1月の平均気温よりも25℃以上も高くなったそうです。スウェーデンの環境活動家

来賓の自由法曹団の玉木弁護士は「桜を見る会をみても、ゴマカシ・隠蔽・隠滅、これ以外でも何でもあ

組合からはコープ滋賀労組、滋賀医労連などが発言され、和やかな中に決意あふれる旗びらきでした。

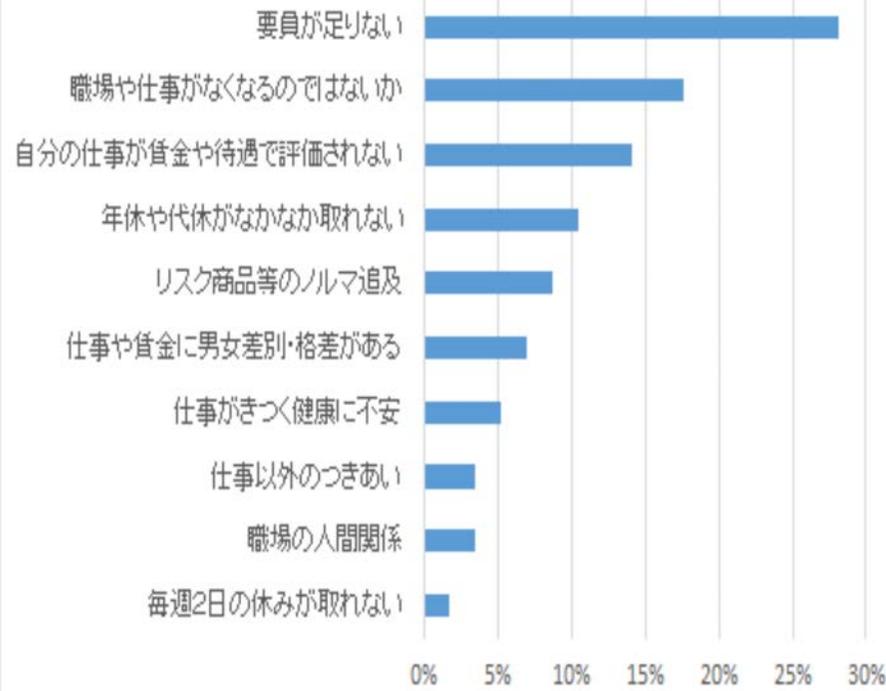
地域に目を向けた政治を

従組と年金者部会に続いてさざなみネットを代表して山崎幸雄書記長が挨拶をされました。山崎さんは、政府・日銀の異常な金利政策や金融の様変わり、大企業の膨大な内部留保、地方経済のことなどについて述べられました。（機関紙「さざなみ」に詳細）短い時間でしたが、決意を固めあう「合同旗びらき」となりました。

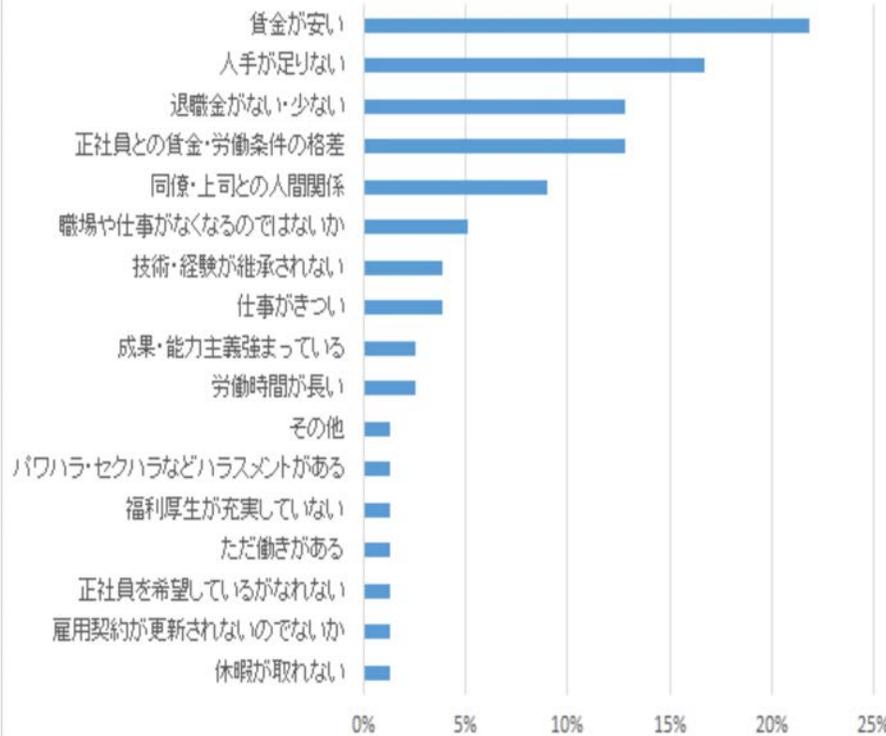


2020年春闘アンケート

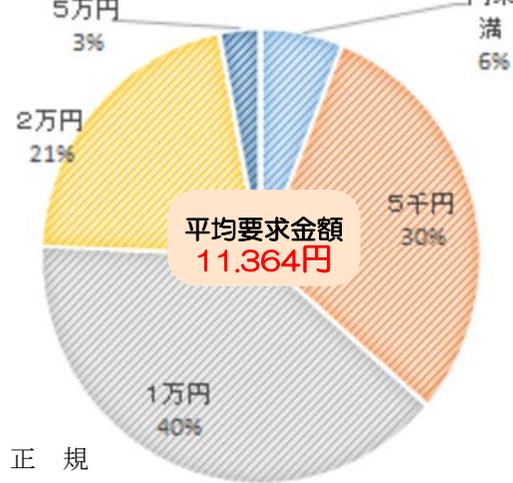
職場で不安・不満に思うこと 正規



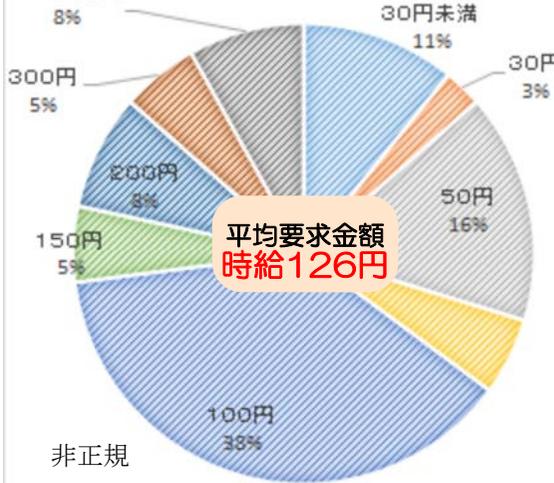
職場で不安・不満に思うこと 非正規



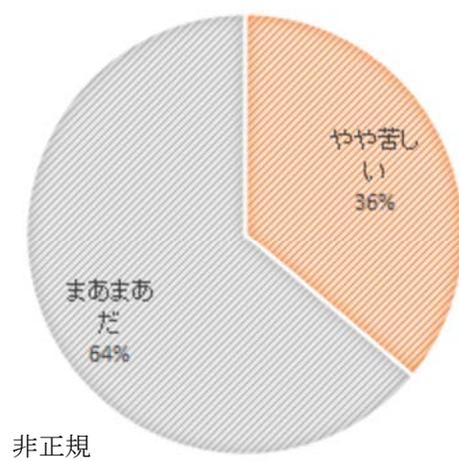
賃上げの要求額は



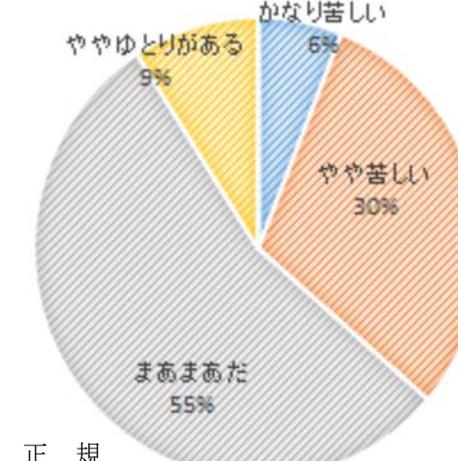
時給引き上げ要求額



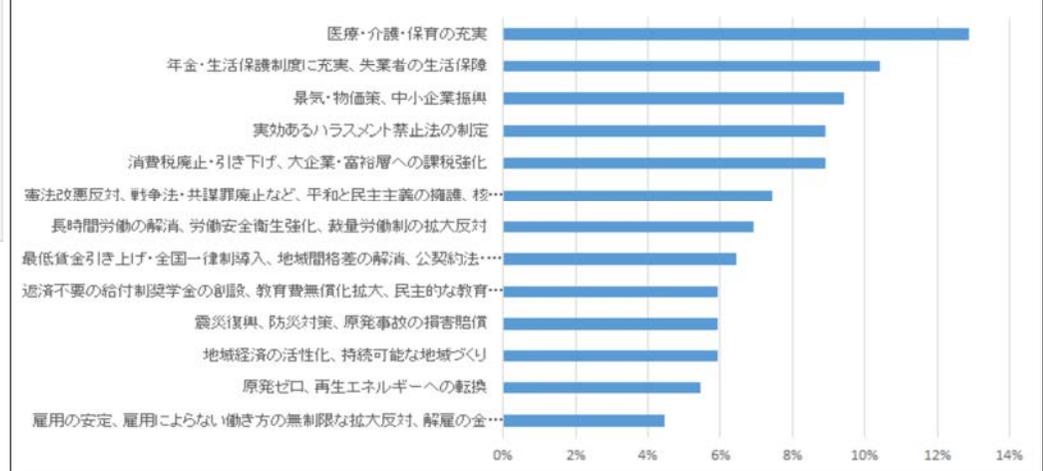
あなたの生活実感は



あなたの生活実感は



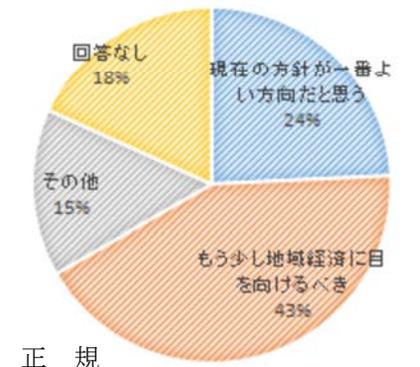
政府に対する要求(正規・非正規合算)



「職場と生活アンケート」「非正規で働く仲間のアンケート」へのご協力ありがとうございました。集計結果は、20春闘の要求組成や交渉に活用させていただきます。

なお、全国の金融職場や他業種の職場から寄せられたアンケートと共に、全国集計され業界団体や関係省庁への交渉・要請などに活用させていただきます。

現在の当行の方針について



リスク商品の販売について

